

平成28年7月26日

地方独立行政法人山梨県立病院機構
理事長 小俣 政男

平成27年度の決算と今後の取り組み

平成27年度の決算が整いましたので、決算の状況及び今後の取り組みについてご報告いたします。

A) 決算の状況

平成27年度は、第2期中期計画期間の初年度であります。計画と比較して、経常利益は4億1,200万円増の13億3,300万円と、純利益は4億2,000万円増の12億7,500万円となりました。純利益は地方独立行政法人化後6年間で2番目に高い水準となりました。

B) 病院の現状と展望

① 救命救急医療体制の充実・強化

当院は、従来から三次救急に最大限の努力を払ってきました。

しかし、地方独立行政法人化後に一次、二次救急を問わず救急受け入れ体制の確立に注力し、また病院全体の協力を得て患者さんを受け入れてきました。救急車で搬送された患者数は、平成21年度との比較で、平成27年度は、三次救急は4%増の982人、二次救急は82%増の1,984人、一次救急他の90%増の2,882人となりました。

これは、山梨県全体におけるセーフティネットの役割を担っていると再認識しております。

また、患者さんの重症度及び緊急性に柔軟に対応するため平成27年度に開設した総合診療科は、救命救急センターと連携することで救急医療体制の更なる充実・強化を図って参ります。

② がん医療への取り組み

法人化後に開設した通院加療がんセンターの患者数は、平成22年度は5,185人でしたが、平成27年度は9,781人とほぼ倍増しました。

がんセンターを有しない山梨県において、がん医療における十二分な機能を発揮しています。

併設したゲノム解析センターにおける遺伝子解析は、平成27年度は966件となり、本院の患者さんに対しBRCAの解析を行い、本邦では未承認である分子標的薬オラパリブの卵巣がんへの投与につながりました。

さらに、ゲノム解析センターには当院の若手医師、国内の大学からの留学希望者が参加しており、臨床に直結して遺伝子解析を行っています。

本県は、東日本随一の肝臓がんの県ですが、画期的新薬ソバルディ、ハーボニーの治療を開始し、平成27年3月末までに385名の患者さんに投与し、ほぼ全例が完治しました。

これは本県における肝臓がん撲滅の第1歩と考えています。

③ 先進医療への取り組み

県立中央病院では平成28年3月に低侵襲手術支援ロボットであるda Vinciの高機能バージョンであるda Vinci Xiを導入し、平成28年6月に前立腺がんの初症例の手術を行い、8月には平成28年4月から保険適用となりました腎臓がんの手術を予定しています。

da Vinci Xiで手術することにより、従来の手術と比較して患者さんへの身体の負担が少なく、入院期間も短縮されております。

また、平成28年度からは、先進医療の腹腔鏡広汎子宮全摘手術、胎児超音波スクリーニング検査による胎児のリスク判定などを開始しております。

今後も地方独立行政法人制度の特性を活かし、高度で専門的な医療を提供して参ります。

④ 精神科救急、児童思春期精神科医療の充実

北病院では、平成27年度から本格的に県の精神科救急医療体制の常時対応型病院として、救急患者を受け入れ、治療を行っています。

また、児童思春期外来の患者数は年々増加しており、こころの発達総合支援センターとも連携を図り、こころの問題を抱えた子供の診療を専

門的に行い、精神科救急及び児童思春期精神科医療の充実を図っていきます。

⑤ 地域に根差し、世界を目指す若手医師集団の育成

平成28年度も19人の初期臨床研修医を採用し、初期臨床研修医37人、専修医33人 計70人の若手医師が在籍しています。これは、当院の全医師185人の38%となります。

これら若手医師の教育は、将来にわたって山梨県の医療の質的及び量的な基盤になると考え、新たに招聘した次の高度な知識と技術を有するエキスパート集団と日々の研鑽を積んでおります。

- ・ 災害・救急医療の専門家（平成25年度）
- ・ 肺がん手術のエキスパート（平成26年度）
- ・ 総合診療科・感染症医療に優れた医師（平成27年度）
- ・ da Vinci 手術のエキスパートの採用（平成28年度）
- ・ 当機構初のアメリカ留学を終えた精神科医療のエキスパート
(平成28年度)

今後も、地域のみならず、世界で活躍する多くの医師を育成できる教育環境の整備を図っていきます。

⑥ より親切、信頼される病院を目指して

県立中央病院では総合電話予約センター（コールセンター）、インフォメーションデスクの設置など外来の受診しやすい環境整備・接遇改善にも取り組んでおります。

ことに直接患者に接する職員に、医療知識を有したスタッフをそろえる予定です。

県立中央病院は平成28年7月に地域医療支援病院となり、引き続き地域の医療機関と連携を図るとともに、県立中央病院及び県立北病院が先進医療に取り組み、職員一同“早くきれいに治す”努力を続けていくことで、患者さんのできるだけ早い治癒を目指し、家族の元にできるだけ早くお帰りになれるという気持ちと技術を維持していく所存であります。

今後ともご支援のほどお願い申し上げます。